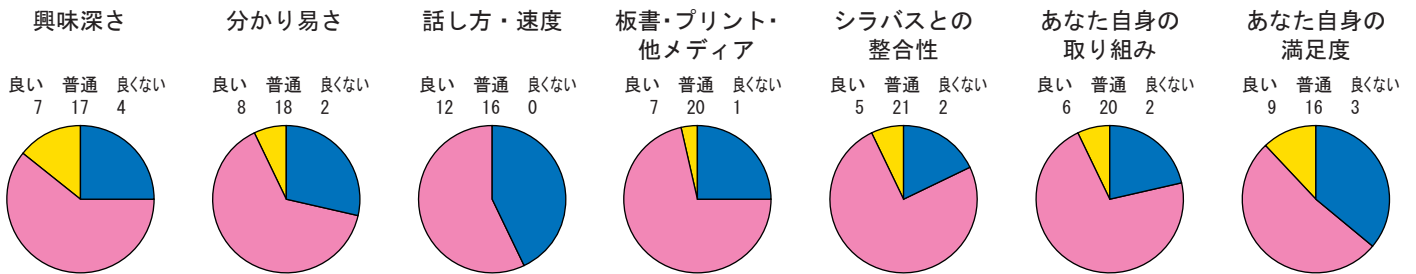


平成15年度2学期 生物学類授業評価

「クラスセミナー」

回答者数：28名 履修申請生物学類生数：93名 (回答率30%)



良かった点

- ・ 植物園とかに見学へ行ったりするのはいいと思う。
- ・ 植物園見学などでできてよかった。
- ・ 個人が読んできた生物関連の本を紹介するという形式は、自分と違う見方や新しい分野の発見もあり、有意義だ。
- ・ 割とみんなが意見を言うところ。
- ・ 2学期後半から一人ずつ発表をするという形式になりクラスのほかの人が生物学のどんなことに興味を持っているのかを知るいい機会となった。
- ・ 外部の方の講義は非常に興味深かった。
- ・ いろんな研究所の先生のお話が聞けて良かったです。三学期もやっていただきたいです。
- ・ いろいろな人に話が聞けた点。
- ・ 外から先生を呼んでいただけたのが良かったです。

改善すべき点

- ・ クラスセミナーでまで実験とかをする必要はないと思う。もっと気楽にやりたい。毎週きっちりやる必要はないと思う。必要なことがあったとき必要な回数こなすべき。
- ・ 内容がないので、サボりがちになってしまう・・・。
- ・ ちょっとだらけた雰囲気があるような・・・。
- ・ 憶測にもとずいた発言、意見、議論になってしまうことが多々。
- ・ 特になし。
- ・ クラセミの役割自体が疑問に思えます。つまり必要ではないということ。
- ・ なおざり感が否めない。個人的には負担が少なくて。
- ・ 休講多すぎました。

担当教官のコメント

この授業の目的が抽象的で、どのように行なったらよいかわからず、試行錯誤でした。研究というものが、自らの手を動かして具体的な実験や調査を行なうだけでなく、先人の業績を理解し、自分なりの仮説を立て、論理的な筋道を作り出す過程があることを見せようとした今回の授業は失敗でした。「やらされている」という意識では、何も身に付きません。まだ1年生なのに、将来の希望する分野と違うとして受け入れなかった学生のいたことには驚きました。今後、この授業を担当する機会には、多角的な視野がなぜ必要かという啓蒙の内容にするつもりです。